

平成29年度 事業報告書

平成29年度における重要無形文化財人形浄瑠璃文楽の伝承及び普及事業等の実施にあたっては、文化庁、大阪府並びに日本芸術文化振興会（国立文楽劇場）等の関係諸団体との連携・協力をさらに密接にしながら、公演事業への取り組み強化、伝承事業の充実に努めた。

中でも、大阪（国立文楽劇場）・東京（国立劇場）での本公演を始め、協会の自主公演である地方公演及びその他の特別公演等の実施にあたっては、これまでの実績を活かし、より充実した公演活動に努めた。

特に地方公演については、芸術文化振興基金等の助成制度を積極的に活用して、所期の事業成果を収めた。

さらに、文楽の普及啓発と国立文楽劇場への誘客を図るための試みとして、本年度も前年度に引き続き文楽に馴染みの少ない人達に文楽を知ってもらい親しんでもらうため、解説を中心に体験や短時間公演で構成する普及啓発事業を実施した。

1. 公演事業

（1）本公演（国立文楽劇場、国立劇場主催）

国立文楽劇場及び国立劇場主催の本公演は、大阪・東京を併せて136日（307回）であった。

（ ）内は、前年度実績

公 演 地	期 間	日数・公演数	観 客 数
大 阪	4/8～30	22 日 44 回	20,979人
(国立文楽劇場)	7/22～8/8	18 日 54 回	20,876人
	11/3～11/26	23 日 46 回	18,541人
	(H30) 1/3～25	22 日 44 回	22,771人
計		85 日 188 回 (85 日 188 回)	83,167人 (85,003人)

東 京 (国立劇場)	5/13～29	17 日 34 回	1 6 , 6 5 2 人
	9/2～18	17 日 34 回	1 8 , 6 2 6 人
	(H30) 2/10～26	17 日 51 回	2 4 , 0 4 6 人
計		51 日 119 回 (51 日 119 回)	5 9 , 3 2 4 人 (6 2 , 2 6 8 人)
合 計		136 日 307 回 (136 日 307 回)	1 4 2 , 4 9 1 人 (1 4 7 , 2 7 1 人)

(2) 地方公演（文楽協会主催）

地方公演は、秋季及び春季に全国各地を巡演し、25日間にわたり
計50回の公演を行い、広く全国各地の文楽愛好家等の期待に応えた。

() 内は、前年度実績

公 演 地	期 間	日数・公演数	観 客 数
近畿・北海道 東北・関東 信州・東海	9/23～10/15	12 日 24 回	1 1 , 5 4 2 人
近畿・九州 関東・東海	(H30) 3/3～3/24	13 日 26 回	1 0 , 0 9 9 人
合 計		25 日 50 回 (24 日 47 回)	2 1 , 6 4 1 人 (2 0 , 1 6 5 人)

(3) 青少年を対象とした公演（国立文楽劇場・国立劇場主催）

青少年を対象とした公演は、国立文楽劇場及び国立劇場主催の「文楽鑑
賞教室」を大阪（14日28回）・東京（13日23回）で実施したほか、
同じく国立文楽劇場及び国立劇場主催による若手技芸員を中心とした「若
手公演」を大阪（2日2回）・東京（13日13回）で実施した。

①文楽鑑賞教室（国立文楽劇場・国立劇場主催）

（ ）内は、前年度実績

公 演 地	期 間	日数・公演数	観 客 数
大 阪 (国立文楽劇場)	6/9～22	14 日 28 回	1 9, 3 2 4 人
東 京 (国立劇場)	12/7～19	13 日 23 回	1 3, 1 8 4 人
合 計		27 日 51 回 (27 日 52 回)	3 2, 5 0 8 人 (3 2, 8 4 4 人)

②若手公演（国立文楽劇場・国立劇場主催）

（ ）内は、前年度実績

公 演 地	期 間	日数・公演数	観 客 数
大 阪 (国立文楽劇場)	6/24～25	2 日 2 回	1, 2 1 1 人
東 京 (国立劇場)	6/29～30	2 日 2 回	1, 0 9 1 人
東 京 (国立劇場)	12/7～19	13 日 13 回	7, 0 7 5 人
合 計		17 日 17 回 (17 日 17 回)	9, 3 7 7 人 (9, 4 4 3 人)

(4) 特別公演事業

京都ギオンコーナーを始め、中日文楽最終公演（愛知県）、内子座文楽（愛媛県）のほか、にっぽん文楽 in 熊本 公演など大小21件の公演を実施した。

主な特別公演事業

() 内は、前年度実績

公 演 名	期 間	日数・公演数	観 客 数
京都 ギオンコーナー	4/1～11/30 (H30)3/9～3/31	265日 (257日)	83,046人 (72,499人)
内子座文楽	8/19～20	2日 4回 (2日 4回)	1,477人 (1,763人)
杉本文楽「女殺 油地獄」	8/11～13	3日 5回	2,250人
中之島文楽	9/29～10/1	3日 3回 (2日 4回)	1,560人 (1,400人)
にっぽん文楽 in 上野の杜	10/14～17	4日 3回	1,056人
九州市民大学 レクチャー公演	11/28	1日 2回	1,800人
中日文楽 最終公演	(H30)3/2	1日 1回 (2日 4回)	1,416人 (3,765人)
ムムム文楽 春祭り文楽	(H30)3/9～11	3日 3回	1,064人
にっぽん文楽 in 熊本	(H30)3/17～20	4日 5回	1,001人

2. 伝承事業

平成29年度の契約技芸員数及び内訳は、次のとおりである。

契約技芸員数	太夫	三味線	人形
86名	22名	21名	43名

技芸の伝承・向上を目的として、師匠・弟子間の研修・指導に重点をおいた取り組みを推進するとともに、技芸員の舞台活動を支援するために舞台活動に必要な着付、黒衣、三味線等の購入等に際し助成を行った。

また当協会・国立文楽劇場が連携して若手技芸員による自発的な勉強会の開催に対して積極的な協力・助成を行った。

さらに、真摯な舞台を務め、技芸の向上が著しい若手技芸員に対し文楽協会賞を贈った。

(1) 若手技芸員発表会

平成29年8月9日 蝠聚会（国立文楽劇場小ホール）

(2) 文楽協会賞表彰

3名（竹本小住太夫、鶴澤清公、桐竹勘介）

3. 後継者育成事業

文楽の技芸員を目指して独立行政法人日本芸術文化振興会の文楽研修生として2年間の研修を受ける者に対して、助成を行った。

- ・研修生に養成貸付金（1名 60万円）の貸与を行った。
- ・研修生から技芸員となった者に奨励金（3名 360万円）を支給した。

4. 普及啓発事業

これまで文楽に馴染みの少なかった人達に、文楽を知ってもらい親しんでもらうため、さらに国立文楽劇場への誘客を図るため、普及啓発事業として三業の役割解説や短時間の文楽公演を実施した。

・普及啓発事業

実 施 場 所	公 演 日
朝日生命ホール（大阪市中央区）	7/6
こども文化センターホール（大阪市中央区）	10/9
道頓堀・戎舞台（大阪市中央区）	(H30)1/10
国立文楽劇場 3階小ホール（大阪市中央区）	(H30)3/5

【 附属明細書 】

事業報告書に詳細まで記載しているため、記載する事項はありません。